

# 小須戸商工会景況調査報告書

組織番号	021
商工会名	小須戸商工会
報告者名	佐藤 英

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 小須戸商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)  
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 令和1年7月～令和1年12月  
(調査時点 令和1年12月1日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	5	16.7%	5	16.7%
建設業	5	16.7%	5	16.7%
卸・小売業	10	33.3%	10	33.3%
サービス業	10	33.3%	10	33.3%
合計	30	100.0%	30	100.0%



6	15	9
---	----	---

8	9	13
---	---	----

1	13	16
---	----	----

**【資金繰り】**

売上、採算利益率の上昇がみられた一方で、資金繰りは依然厳しい状況に置かれている。売上の上昇を一時的なものと捉えている事業所が多く楽観視していない。今後は悪化との回答が多いため、今後も厳しい状況が予想される。

**前年同期比**

好転	不変	悪化
1	18	11

**前期比**

好転	不変	悪化
1	13	16

**今後の見通し**

好転	不変	悪化
0	8	22

**【雇用動向】**

雇用動向に大きな動きは見られず、売上の傾向から見ても現状維持が続くと予想される。従業員を雇わず、家族従業員のみの営業が多いが、今後の見通しはごくわずかに雇用動向に減少がみられる。

**前年同期比**

増加	不変	減少
0	30	0

**前期比**

増加	不変	減少
0	30	0

**今後の見通し**

増加	不変	減少
0	28	2

**【景況判断】**

売上の傾向とは異なり、前年同期比では不変、前期比では不悪化との回答が半数以上であった。見通しも一部を除いては悪化がほとんどであり、楽観視できない状況がうかがえる。

**前年同期比**

好転	不変	悪化
6	15	9

**前期比**

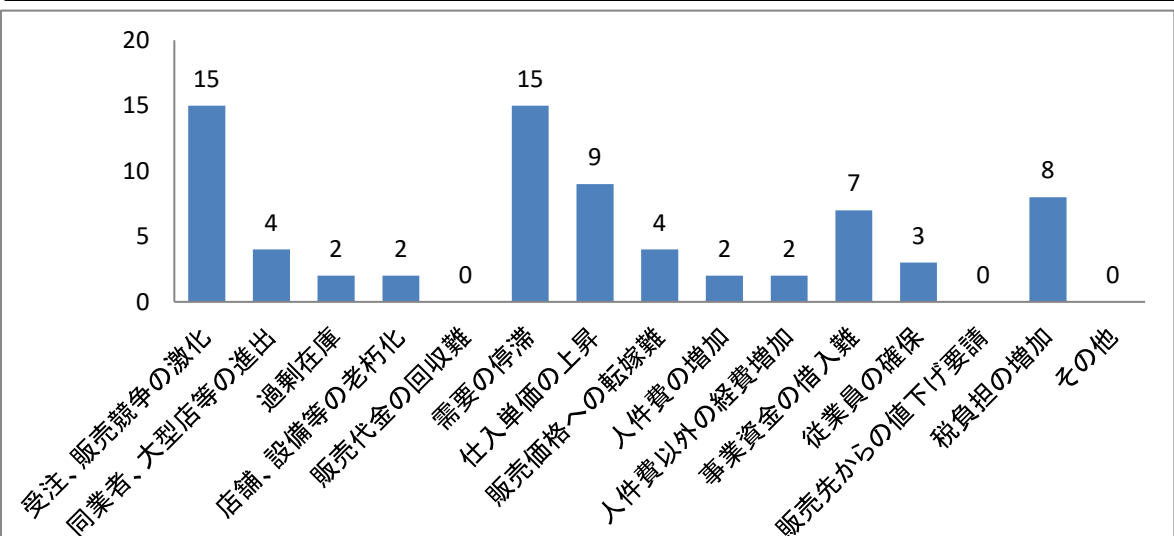
好転	不変	悪化
6	8	16

**今後の見通し**

好転	不変	悪化
1	0	29

**【経営上の問題点】**

需要の停滞と販売競争の激化の回答が半数に上り、つづいて仕入単価の上昇、税負担の増加と回答が多かった。販売競争の激化に加え、需要の停滞が続いていることから正確な顧客ニーズを把握していないことが予想できる。販売競争が激化しているからこそ、他店との差別化を図り、競争力を身に着けることが求められている。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

売上と採算利益率は業種全体で増加と回答する事業所が多く、好調が窺える。しかし、一部の事業所では材料費の高騰と価格の転嫁難が課題として挙げられる。また今後は増税の影響もあり、取引先の減少や偏りに対するリスクへの対応を検討する必要がある。設備投資のための資金繰り難もあり、積極的な補助金活用など計画的な実行が求められる。

#### (2) 建設業

建築関連では需要は多く、請負額が需要に比例したため、売上の増加に繋がった。見通しとしても、春先までは仕事があり、順調であるがその先についてはまだ不明である。今回は地域の分譲地やリフォームについての受注は少なく、地域外の仕事の割合が多い。土木関係では事業所により受注が増えているところと伸び悩んでいるところとばらつきがあるが、全体としては売上が低迷している。資金繰りも含め先行きは厳しい。

#### (3) 卸・小売業

取扱商品において、景況に差が見られた。日用雑貨・食料品等の取扱店舗においては、売上が悪化、その他の商品では増加または不変であった。隣接する白根地区、新津地区の商業施設による影響を大きく受けている。高齢化や施設入居による顧客の減少が続く中で、売り出し事業への参加や店独自の販売サービスの向上により、顧客の確保・開拓に取り組んでいるが、売上は伸び悩んでいる。

#### (4) サービス業

地区内の顧客に依存しており、こちらも高齢化による顧客減少のため、理美容業、飲食業、クリーニング業などにおける売上・営業利益は不変または減少傾向が見られた。需要の停滞も見られ、小売業と同じく、地区内外における新たな顧客の獲得に取り組んでいるものの、一部の事業所を除いて、売上にはつながっていない。また、飲食業においては消費税増税に伴い価格改定を実施できたところは利益率を維持できているが、価格改定できず、値段を据え置いているところは利益率が低下している。今後、価格の見直しが課題となっている。

(様式⑤)

No.	
-----	--

### 景況調査ヒアリングシート（令和元年度）

調査対象期間 令和元年7月～12月  
（調査時点 令和元年12月1日）

商 工 会 名	小須戸商工会	担当職員名	
企 業 の 概 要	業 種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(H30年7月～12月)と比較して	前期(H31年1月～R1年6月)と比較して	今期(R1年7～12月)と比較した来期(R2年1～6月)の見通し
売 上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕 入 単 価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資 金 繰 り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇 用 動 向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景 況 判 断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化
- ②同業者、大型店等の進出
- ③過剰在庫
- ④店舗、設備等の老朽化
- ⑤販売代金の回収難
- ⑥需要の停滞
- ⑦仕入単価の上昇
- ⑧販売価格への転嫁難
- ⑨人件費の増加
- ⑩人件費以外の経費増加
- ⑪事業資金の借入難
- ⑫従業員の確保
- ⑬販売先からの値下げ要請
- ⑭税負担の増加
- ⑮その他 ( )

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--

